

2010年度

| | | | | | |
|--|--|----|----------------------|-----|-------|
| 科目名 | ジェンダー論(総合講座) | | | | |
| 担当教員 | 岡島 克樹、李 和子、日合 あかね | | | | |
| 配当 | 教育4 | | | コード | 54540 |
| 開期 | 通年 | 講時 | 後期 金曜日4限 前期 金曜日4限 | 単位数 | 4 |
| 授業テーマ | 「性」に関する「常識」や「思い込み」を再検討する。 | | | | |
| 目的と概要 | 「性」は、語りの寡少と過剰の中で、「常識」や「思い込み」というものが充満している。例えば、「性別」には「男性」と「女性」の二つしかない、「セクシュアリティ」には「異性愛」しかないと思込んでいる人がほとんどではないだろうか。本講は、こうした性に関する思い込みや常識を問うてきたジェンダー論の歴史的発展・関心の変遷、ジェンダー論で頻繁に用いられる基本的な用語について解説する。また、受講者とともに、この思い込みが自分自身や他者、あるいは社会全体に与えるインパクトを検討し、そのような思い込みが生まれる背景・構造を見つめ、これを転換するための方途について考えていく。 | | | | |
| 成績評価法 | 前期の期末レポート40%、授業への貢献(外部講師によるレクチャーへの参加、発言等)10%(以上、岡島)、後期の学期末レポート25%、「講義時のミニ・レポート」25%(以上、李・日合)で評価する。 | | | | |
| テキスト | 適宜、コピーする。 | | | | |
| 参考書 | 適宜、紹介する。 | | | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | | | | | |
| 講義計画 | | | | | |
| <p><前期></p> <p>1回目：自己紹介・本講の目的解説…「性」の定義 2回目：「第2波フェミニズム」…婦人論の時代から女性学の時代へ(その1) 3回目：「第2派フェミニズム」…婦人論の時代から女性学の時代へ(その2) 4回目：女性学からジェンダー研究へ(その1) 5回目：女性学からジェンダー研究へ(その2) 6回目：外部講師(その1) 7回目：外部講師(その2) 8回目：ジェンダー研究の諸特徴のまとめ 9回目：男女共同参画社会とはなにか 10回目：学生の関心に従ってジェンダー研究の諸分野を紹介(その1) 11回目：学生の関心に従ってジェンダー研究の諸分野を紹介(その2) 12回目：学生の関心に従ってジェンダー研究の諸分野を紹介(その3) 13回目：学生の関心に従ってジェンダー研究の諸分野を紹介(その4) 14回目：学生の関心に従ってジェンダー研究の諸分野を紹介(その5) 15回目：前期まとめ (以上、岡島担当)</p> <p><後期></p> <p>1回目：私と女性問題(アプローチと問題意識)…個人の問題から社会の問題へ、性差別を見抜く力をつける。 2回目：「慰安婦」問題って何?…日本軍「慰安婦」問題のビデオ視聴と解説 3回目：「慰安婦」問題と私たち(その1)…「慰安婦」問題の成り立ちと実態 4回目：「慰安婦」問題と私たち(その2)…戦争責任、性の二重規範、民族差別など「慰安婦」問題の本質 5回目：今、アジアの女性たちは…アジアの女性に対する暴力の実態をビデオなどで紹介、解説 6回目：女性に対する暴力は人権侵害…性暴力根絶に向けた日本国内外の取り組み、女性たちの活動 7回目：私の生き方を見つめる、考える…グループ討議(前回のミニ・レポートを参考資料とする) (以上、李担当)</p> <p>8回目：ジェンダー研究におけるセクシュアリティの問題(その1)…なぜセクシュアリティが問題となるのか 9回目：ジェンダー研究におけるセクシュアリティの問題(その2)…セクシュアリティに関するジェンダー問題を知る 10回目：女性問題と性的自由について…ジェンダー問題を性的自由という観点から捉える 11回目：恋愛とは何か…何故恋愛は対一で行うのかを考察する 12回目：理念と現実社会…理念と現実の社会とのギャップをどう捉えるのか 13回目：性犯罪とジェンダー構造(その1)…性犯罪は本能に基づくものか否かを議論する 14回目：性犯罪とジェンダー構造(その2)…性犯罪に見出すジェンダーの差異について 15回目：まとめ…グループ討論と質疑応答 (以上、日合担当)</p> | | | | | |